

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公表番号】特表2015-521039(P2015-521039A)

【公表日】平成27年7月27日(2015.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-047

【出願番号】特願2015-510786(P2015-510786)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 2 3 L	33/17	(2016.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/64	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	7/08	
C 0 7 K	14/47	
A 2 3 L	1/305	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	13/00	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/10	

A 6 1 P	31/04
A 6 1 P	33/00
A 6 1 P	37/02
A 6 1 P	35/00
A 6 1 K	8/64
A 6 1 Q	19/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1のアミノ酸配列を有するペプチドを活性成分として含む、抗炎症組成物。

【請求項2】

炎症性疾患の治療または予防のための医薬組成物である、請求項1に記載の抗炎症組成物。

【請求項3】

皮膚炎症を改善または予防するための化粧品組成物である、請求項1に記載の抗炎症組成物。

【請求項4】

炎症の治療または予防のための食品組成物である、請求項1に記載の抗炎症組成物。

【請求項5】

前記炎症性疾患は、(1)全身または局所の炎症疾患(例えば、アレルギー；免疫複合体疾患；枯草熱；過敏性ショック；耐毒素ショック；悪液質(cachexia)、異常高熱；肉芽腫症；または類肉腫症)；(2)胃腸管系疾患(例えば、虫垂炎；胃潰瘍；十二指腸潰瘍；腹膜炎；脾臓炎；潰瘍性、急性または虚血性の大腸炎；胆管炎；胆囊炎、脂肪便症、肝炎、クローン病；またはウイップル病)；(3)皮膚関連疾患(例えば、乾癬；火傷；日焼け火傷；皮膚炎；蕁麻疹性のいぼまたは膨疹)；(4)心血管系疾患(例えば、血管炎；脈管炎；心内膜炎；動脈炎；粥状動脈硬化症；血栓静脈炎；心膜炎；鬱血性心不全；心筋炎；心筋虚血症；結節性動脈周囲炎；再発性狭窄症；バーガー氏病；またはリューマチ熱)；(5)呼吸器系疾患(例えば、喘息；喉頭蓋炎；気管支炎；肺気腫(emphysema)；鼻炎；囊胞性纖維症；癰瘍性肺炎；慢性閉鎖性疾患(COPD)；成人呼吸障害症候群；塵肺症；肺胞炎；細気管支炎；咽頭炎；肋膜炎；または副鼻腔炎)；(6)骨、関節、筋肉及び結合組織関連疾患(例えば、好酸性肉芽腫；関節炎；関節痛；骨髄炎；皮膚筋炎；筋膜炎；パジェット病；通風；歯周疾患；リューマチ性関節炎；重症筋無力症；強直性脊椎炎；または潤滑膜炎)；(7)泌尿生殖系疾患(例えば、副睾丸炎；腫炎；前立腺炎；または尿道炎)；(8)中枢または末梢神経系関連疾患(例えば、アルツハイマー病；髄膜炎；脳炎；多発性硬化症；脳梗塞；脳塞栓症；キラン・バレー症候群(Guillain-Barré syndrome)；神經炎；神經痛；骨髄外傷；麻痺；またはぶどう膜炎)；(9)ウイルス(例えば、インフルエンザ；呼吸器細胞融合ウイルス；HIV；B型肝炎ウイルス；C型肝炎ウイルスまたはヘルペスウイルス)感染疾患(例えば、デング熱；または敗血症(septicemia))、真菌感染疾患(例えば、カンジダ症)；または細菌、寄生虫、および類似の微生物感染(例えば、散在性菌血症；マラリア；糸状虫症；またはアメーバ症)；(10)自己免疫疾患(例えば、甲状腺炎；ループス；グッドパスチャーリー症候群；同種移植拒否反応；移植片対宿主病；または糖尿病)；ならびに(11)癌または腫瘍性疾患(例えば、ホジキン病)からなる群から選択される、請求項1又は2に記載の抗炎症組成物

。

【請求項 6】

前記炎症性疾患がアルツハイマー病である、請求項 5 に記載の抗炎症組成物。

【請求項 7】

前記ペプチドが 0.1 μg / kg ~ 1.0 g / kg の単回投与用量で投与される、請求項 6 に記載の抗炎症組成物。

【請求項 8】

前記ペプチドが 1 μg / kg ~ 10 mg / kg の単回投与用量で投与される、請求項 6 に記載の抗炎症組成物。

【請求項 9】

前記ペプチドが 1 日に 1 ~ 3 回投与される、請求項 6 に記載の抗炎症組成物。

【請求項 10】

前記ペプチドが 0.1 μg / kg ~ 1.0 g / kg の 1 日投与用量で投与される、請求項 6 に記載の抗炎症組成物。

【請求項 11】

経口、直腸、経皮、静脈内、筋肉内、腹腔内、骨髓内、硬膜外または皮下手段を通じて投与される、請求項 6 に記載の抗炎症組成物。